

平賀研究室のテーマは、建築を通じてより良い環境を創造することです。

日本近代建築史を基礎として、文化遺産や歴史的環境の保存についての研究をおこないます。

文化遺産や歴史的環境を守ることは、  
現代の私たちが守るべきものを考え、  
出来る限りの手をつくし、  
未来の環境を豊かにする創造的行為です。

文化遺産の保存についての研究は、歴史的建造物や町並みの価値の発見、修理や活用の手法、制度や理念の研究と多様な切り口があり、対象も世界の宮殿から近所のお蕎麦屋さんまで幅広く、様々な可能性があります。

現在は、次のような研究をおこなっています。

- ★文化遺産保存の理念的・制度的研究（文化財保護法、世界遺産条約など）
- ★現代社会に適合した歴史的建造物の保存と魅力的な活用に関する研究
- ★国宝・旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）を中心とする日本近代建築史の研究



世界遺産でもある白川郷合掌集落



社寺の彩色修理の現場



歴史地区内での現代的修景事例（川越）



旧東ドイツ炭鉱施設の観光活用



教会をレストランへ活用した事例



旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）